

第1日目/テーマ「災害時発生時におけるボランティアの役割」

日時:平成21年12月5日(土) 場所:北地区センター

講義 「大垣で起こりうる地震災害についての概論」

名古屋大学大学院教授 山岡耕春氏

- (内容)
1. 濃尾地震(1891) at 根尾谷断層
 2. 大垣における地震の脅威
 3. 地震は住む家から
 4. 緊急地震速報とは?



講義 「災害時における市民の役割～災害ボランティアの現場から」

NPO 法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之氏

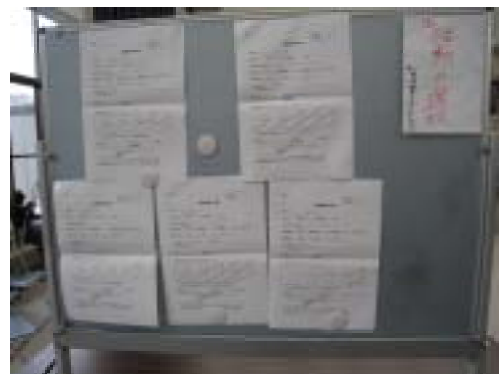
- (内容)
1. 昨今のボランティア事情
 2. 災害ボランティアの文化
 3. 災害ボランティアセンターの役割と機能
 4. 震災がつなぐ全国ネットワーク
 5. 阪神淡路大震災からまもなく15年



GW 「災害ボランティアセンター設置訓練」

NPO 法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之氏

- (内容) ボランティアセンターの流れを学ぶ
1. ボランティア受付
(登録・ボラ保険加入手続き・名札作成)
 2. 活動探し(活動紹介表)
 3. オリエンテーション(ボランティアの心構え、活動の具体的な内容や留意事項、必要な資器材などを説明)
 4. 出発(必要な資器材と交通手段を確保して)
 5. 活動(リーダーの指示に従って、お礼は丁重にお断りして)
 6. 活動終了(リーダーはメンバーの意見・感想を聞き取り、活動報告書を作成提出)



第2日目 / テーマ「自分たちの地域を知る」

日時:平成 21 年 12 月 6 日(日) 場所:北地区センター

講義 「岐阜県の防災～土砂災害と対策～」

岐阜県大垣土木事務所

- (内容)
- 1.土砂災害とは
 - 2.土石流とは
 - 3.がけ崩れとは
 - 4.地すべりとは
 - 5.土砂災害の対策
 - 6.土砂災害防止法について



講義 「私たちが住んでいる土地と災害～水害予測に役立つ地図」

国土地理院地理調査部防災地理課 新西正昭氏

- (内容)
- 1.日本における地形と気候の特徴
 - 2.水害はなぜ起こるのか
 - 3.土地条件図とは
 - 4.山地斜面の地形分類(大垣地域)
 - 5.明治 22 年頃の大垣
 - 6.住んでいる土地はどんな地形か



講義 「いのちを守る防災気象情報」

岐阜地方気象台気象官 向井利明(気象予報士・防災士)

- (内容)
- 1.天気予報と注意報・警報の違い
 - 2.気象庁の防災業務
 - 3.台風や大雨時の防災気象情報
 - 4.避難判断と防災気象情報
 - 5.局地的大雨から身を守るために



実技 「普通救命講習」

大垣消防組合

- (内容)
- 1.心肺蘇生法
 - 2.AEDの取扱い方法



第3日目 / テーマ「自分たちの地域を知る」

日時:平成 22 年1月 30 日(土) 場所:北地区センター

パネルディスカッション「市民による防災まちづくりの実践」 なごや防災ボラネット

- (内容)
1. 名古屋市東区、北区、昭和区の防災ボランティア活動の現状について報告
 2. 実際の災害時に自分たちは何ができるか
 3. 団塊世代の地域デビューと防災入門
 4. ボランティア活動のおもしろさ発見



講義 「能登半島でのボランティア活動から」

石川県穴水町教育相談室『あした塾』滝井元之氏

- (内容)
1. 能登半島でのボランティア活動から
 2. ボランティアセンターの立ち上げ
 3. 実際のボランティア活動
 4. 今後の課題として
 5. 現在の状況



グループワーク 「地域の課題と私たちができることを考える」

なごや防災ボラネット・レスキューストックヤード

- (内容)
1. 自分たちの地域の弱点
 2. 解決策
 3. グループ内で討論
 4. 発表



第4日目 / テーマ「被災地の復興と災害ボランティア」

日時:平成 22 年1月 31 日(日) 場所:北地区センター

講義 「東海・東南海地震どうなる？ どうする！」

(財)日本気象協会 主任技師 新井伸夫氏

東海ラジオアナウンサー 源石和輝氏

(内容) 東海ラジオ(1332MHZ)で水～金曜に放送の『源石和輝 美味時間(うーまいたいむ)』コンビによる対話形式の講座。
阪神淡路大震災から 15 年、源石アナが神戸取材した際の生の声も聞いた。



講義 「被災地の復旧・復興とボランティアの役割」

レスキューストックヤード事務局長 松田曜子氏

(内容) 1. 被災地の復興とは・・・
実は定義はない。現在も研究途上。
2. 被災後 3 ヶ月、半年、1 年、2 年後の風景
その段階、段階で課題が異なる。



グループワーク 「被災地の声に耳を傾ける」

レスキューストックヤード事務局長 松田曜子氏

(内容) 1. 「能登半島地震」が発生して、数日経った避難所における被災者の生の声を聞いて最重要課題は何か、それに対して自分たちは何ができるのかを考えた。
2. グループごとに課題と取り組み方法に特色が見られた。



修了式 65 人の「大垣市防災リーダー」が誕生。リーダー証が授与されました。



他にこんなこともしました

日時:平成 21 年 12 月 15 日(土) 場所:北地区センター

大垣市北連合自治会防災備蓄倉庫 見学

(内容) 市内に 26 カ所あるうちのひとつである「北連合自治会防災備蓄倉庫」を見学し、資機材の取扱いについて説明を受けました。



日時:平成 22 年 1 月 16 日(土) 場所:赤坂総合センター 和室

大垣市防災ひとづくり塾 自主ゼミ

(内容) 1. 午前の部 防災士試験対策講座
2. 午後の部 日本防災士会岐阜県支部の活動紹介

1月31日(日)の修了式後に行われた「防災士資格取得試験」の結果、51人が合格しました。

(65人のうちの希望者のみが受験)

